

「できることを無理のない範囲で」をモットーに緩やかに地道なサポーター活動を展開しています

栗東市	活動名：栗東中学校サポーターズクラブ	栗東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

地域学校協働本部「栗中サポーターズクラブ」の代表が学校協働協議会に参加しサポーターの活動を報告している。学校と地域をつなぐ取組が長年続いており、生徒の育成に繋がっていると評価されている。保護者の加入も進んでおり、持続可能な運営のため負担軽減を図りつつ、新たな加入に繋がる取組を継続することが期待されている。今後も地域連携を深め、よりよい方法を検討していきたい。



【 エコロジー委員とジャガイモ収穫 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○不特定多数の地域の方が参加、幅広く本校に協力して下さっている活動

生徒会エコロジー委員とサポーターの方で野菜を育てて、収穫し、春と秋に地域の方に販売(春は、サポーターさんが地域の方と保護者さんに販売。秋は、チャレンジウィークの一環として生徒が販売。校区内の聾話学校高等部さんも参加。聾話学校産野菜を民生委員・児童委員さん支援のもと、生徒たちが販売、盛り上げてくれた。)している。毎年、収益で自習コーナーに置く本を購入している。

○地域へのボランティア活動

生徒会執行部・部活動有志で「みんなの生活向上部活隊」を結成し、サポーターの方と近隣地域と校庭のゴミ拾い清掃を実施している。毎回約100名の生徒が参加し、長年続いていることや地域の方から「ありがとう」の声掛けもあり生徒たちは頑張っている。(年2回)

○和文化に親しみを感じ、継承するきっかけとなる活動

毎年夏にサポーターの方が家庭部員に浴衣の着方を講習して下さっている。浴衣は生徒持参もあるが、浴衣と帯ともにサポーターさんが持参して下さっている。帯の結び方や、浴衣のたたみ方もご指導くださり、2回着ることで、生徒たちも着方を習得できる。家に帰り、家族に着方を披露する部員もいて、とても好評を得ている。和文化の継承にもつながっている。

■ 事業の成果・展望

- ・野菜の栽培から収穫、販売、収益で自習コーナーに置く本を購入し生徒に還元するという一連の過程を生徒とともに活動、または生徒に見える形で支援することで、生徒達が労働の意味や地域の方との関わり、生産から販売までの簡単な仕組みなどを学び、意欲的に参加している。また、自習コーナーの本棚はサポーターの方が製作して下さり、助かっている。
- ・活動について、その時代に合わせて見直しはしているものの、「無理のない範囲で」をモットーに、基本となる活動の内容や時期はあまり変えずに地道に活動を続けている。毎月発行の新聞「栗の葉」で保護者や地域役員に、その都度、生徒の活動やサポーターの方の支援の様子をお知らせすることで、理解して下さる地域の方が増え、協力や支援をいただいている。コミュニティセンターとの連携や協力も、活動に大きく反映している。
- ・猛暑などの気候変動への対処が課題である。特に夏場の活動が制限されることや暑さで野菜がうまく育たないことがあげられる。サポーターの方の高齢化もあり、試行錯誤しながら活動を続けている。
- ・PTAにより、保護者のサポーター加入が少しずつ増えている。時間帯や内容を精選・工夫し、加入しやすい環境づくりに努める。

■ その他

・今後長く活動を続けていくために、次の世代へスムーズに継承すること、また、新しく加入されたメンバーへ活動の趣旨や立ち上げ当初の思いなどを伝えながらもその時々合った無理のない活動の創意工夫が求められる。



【 家庭部浴衣着方教室の支援 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 主幹教諭 その他(生徒指導主事)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

「地域と学校がつながる未来へ」

栗東市	活動名：栗東西中学校地域学校協働本部	栗東西中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和7年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務0人) ボランティア登録数：23人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・愛校活動
- ・防災訓練
- ・栗秋祭(西中祭)



【 防災訓練 】

■ 事業の成果・展望

地域の方と中学生、卒業生が協力して栗秋祭を実施した。中学生は模擬店を大盛況に導いた満足感や、周囲に認められたという思いを感じることができた。

地域の方や卒業生など、普段関わることのない方々との交流は非常によい経験となった。今後もこのような活動を継続していきたい。

■ その他

学校の教育活動への支援を考えていきたい。
(読書サークルのボランティアさんに本の読み聞かせに来ていただいて、子どもたちが読書への興味を高める機会をつくる、など)



【 栗秋祭 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域専携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)